

梅雨時の安全運転

今年は例年に比べ、早い梅雨入りとなっています。梅雨時は交通渋滞やスリップ、視界不良など、車の運転に関しては悪条件が重なり、交通事故が多発する季節でもあります。車の点検や運転上の心構えのポイントをおさえ安全運転に努めましょう！

車の点検をしよう！

- 雨の危険要因として、視界の悪化とスリップに対する注意が必要です。
- ワイパーのゴムは早めに交換し、クリーンな視界を確保しウィンドウオッシャー液の補充も忘れずにおきましょう！
- タイヤのスリップサインでタイヤの溝の深さを点検しましょう！溝が少ないタイヤは停止距離が長くなるだけでなく、路面とタイヤの間の水をうまく排水できずハイドロプレーニング現象を起こす原因にもなります。1.6ミリ以下の溝は大変危険です。



運転はゆとりをもとう！

- 雨の日は交通渋滞が起こりやすく、気分がイライラしがちですが、そのような状態で運転するのは非常に危険です。
- 濡れた路面は滑りやすく、制動距離が長くなり、追突事故が起きやすくなるので車間距離を十分とりましょう。
- ハイドロプレーニング現象防止のため、スピードを控えましょう。もし起きてしまった場合はアクセルを戻し、スリップが収まるまでハンドル操作やブレーキをせず冷静に待ちましょう。

自転車の動静に注意しよう！

- 自転車の傘差し運転は法令違反であるだけでなく、傘が視界を遮り、片手運転でのハンドルやブレーキ操作が不安定で周囲の歩行者や車にも危険を及ぼすため注意が必要です。
- 雨具（カッパ）を着用した自転車の運転はフードにより視界が狭くなり、音も遮られるため、車が接近しても気付かないことがあるため、動静には注意しましょう。

雨天時走行のマナー

- 歩行者の側を通るときや、道端に水たまりがあるときは、しっかり徐行し、少し歩道側にスペースを広めにとって、水や泥を跳ね上げないように配慮しましょう。
- 道路交通法71条①には「車両等の運転者は、ぬかるみや水たまりを通行するときは、泥よけ器をつけ、または徐行するなどして、泥土、汚水などを飛散させて他人に迷惑を及ぼすことのないようにしなければならない。」としています。（*5万円以下の罰金*違反点なし*反則金…大型7千円・普通6千円・二輪6千円・原付5千円）

